

# 日中交流情報センター

発行所 日中交流情報センター

〒400-0031

山梨県甲府市丸の内2-30-5 甲府電化ビル3F

E-mail:jpch-zhongxin@docomo.ne.jp.

## [インタビュー]

今回は遼寧省出身の馬耀さんにお話を伺います。



Q: まず来日の経過からお聞きします。

A: 日本に来て約20年になるのですが、当時は日本にいた叔母の友人から紹介された日本人の方と結婚することになり、来日しました。来る前は山梨についての知識がほとんどなく、東京の近辺なので、結構賑やかなところだろうくらいに思っていたので、山梨の北部の農村に来た時には都会との格差を感じ、とても驚きました。

しかしつづつと山梨に暮らして、今ではここでの生活にすっかり溶け込んでいます。周囲は山大自然に囲まれて、山梨のゆっくりしたリズムに馴染んでいます。ですから東京に出張したり、また遊びに行った時など、人がとても多く、都会の喧噪は却って苦手です。

前の夫はとても古風、保守的な人で、自分の妻には家にいて欲しかったので、私が外で働くことにずっと反対でした。そんなことで二人はうまくいかなくなり、離婚しました。それから自立して、仕事を始め、現在に至っています。もう14~15年になりますが、最初は派遣社員からはじまり、その後嘱託、現在は正社員として仕事を続けています。

Q: 今は、どんな仕事をされているのですか。

A: 私の勤めている会社は半導体とFPD（フラットパネルディスプレイ）を生産する機械を製造しています。私はFPD部門にて、設備に関する講習を担当しています。今の所中国の顧客が多いので、その人たちが使い方を学ぶため日本に来た時に使う、会社の紹介や設備に関する研修会の講師をしています。

しかし新型コロナウイルス肺炎の感染拡大の影響で、中国からの顧客が来ることがとても少になりましたので、現在は研修用のVR（バーチャルリアリティー）を使った資料を作る準備をしています。特別なゴーグルを着けて仮想現実の空間の中、3D（三次元コンピューターグラフィックス）で立体的、奥行きのある画像を見られることで、限りなく実体験に近い体験が得られるようにするのです。資料をさがしたり、そちらの方面のことを学ばなければなりませんので、とても忙しいのです。

ここ数か月は、家でパソコンと向き合って仕事をしています。身体を動かす時間が少ないので、朝早く起きて散歩をしたり、ジョギングをしたりして身体を鍛えています。